

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エルシード京都麩屋町通Ⅲ新築工事	階数	地上5F、地下1F
建設地	〒600-8101 京都府京都市中京区麩屋町通Ⅲ-1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年9月3日
敷地面積	1,195.63 m ²	作成者	株式会社 東洋設計事務所 松田政也
建築面積	956.32 m ²	確認日	2019年9月3日
延床面積	5,058.05 m ²	確認者	株式会社 東洋設計事務所 松田政也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 81% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 81% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 81% (46 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	坪庭や芝生を設置している。また、格子ルーバーの採用で京都の景観に配慮した設計となっている。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	内装材に使う全ての下地、仕上は、F☆☆☆☆製品	Q3 室外環境(敷地内) 坪庭や芝生を設置している。
LR1 エネルギー	LED照明、太陽光パネルを設置している。	LR3 敷地外環境 光害の抑制に努めた。
Q2 サービス性能	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される